

16 環境保全

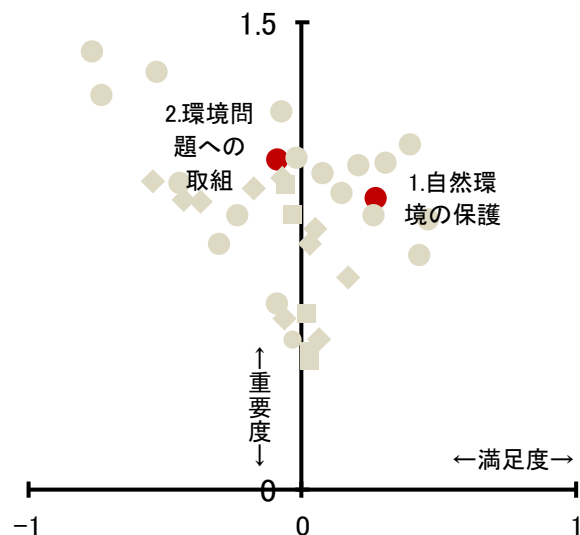
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

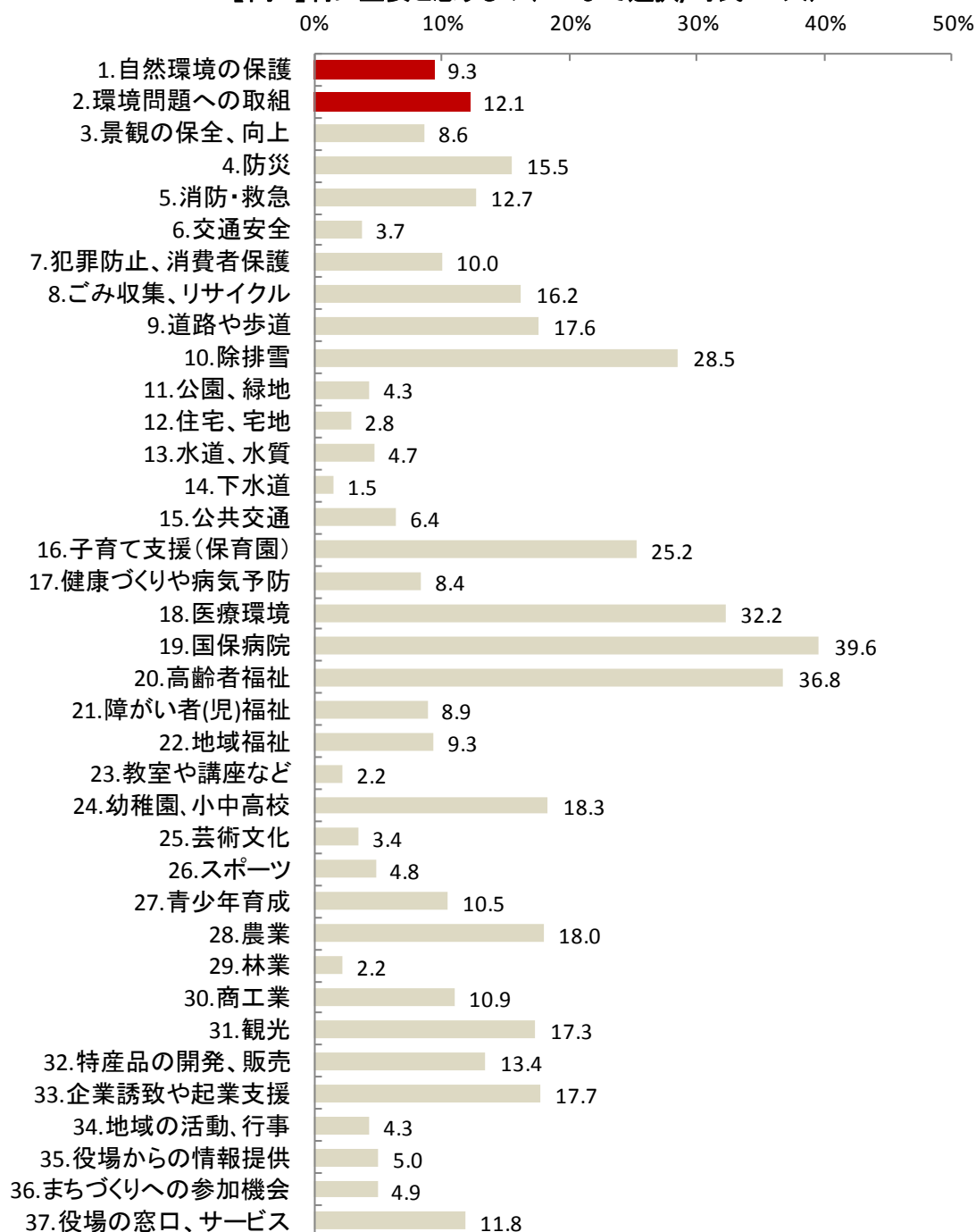
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

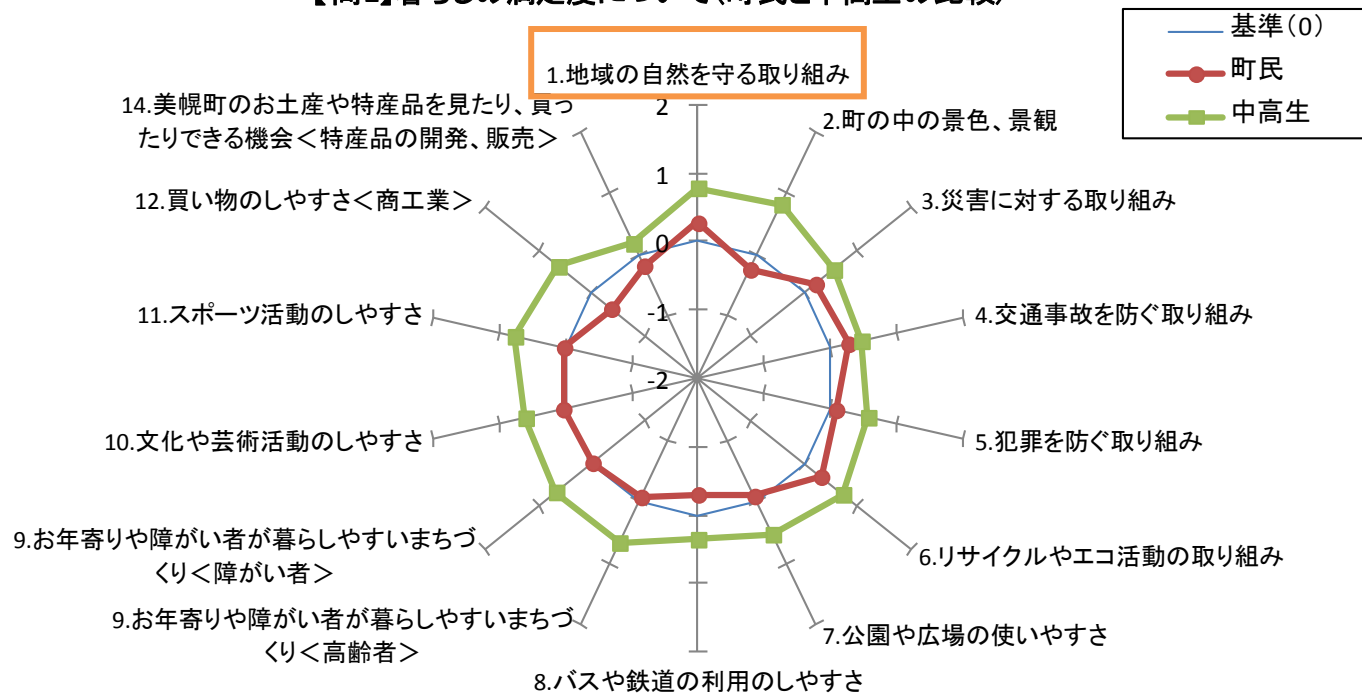
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



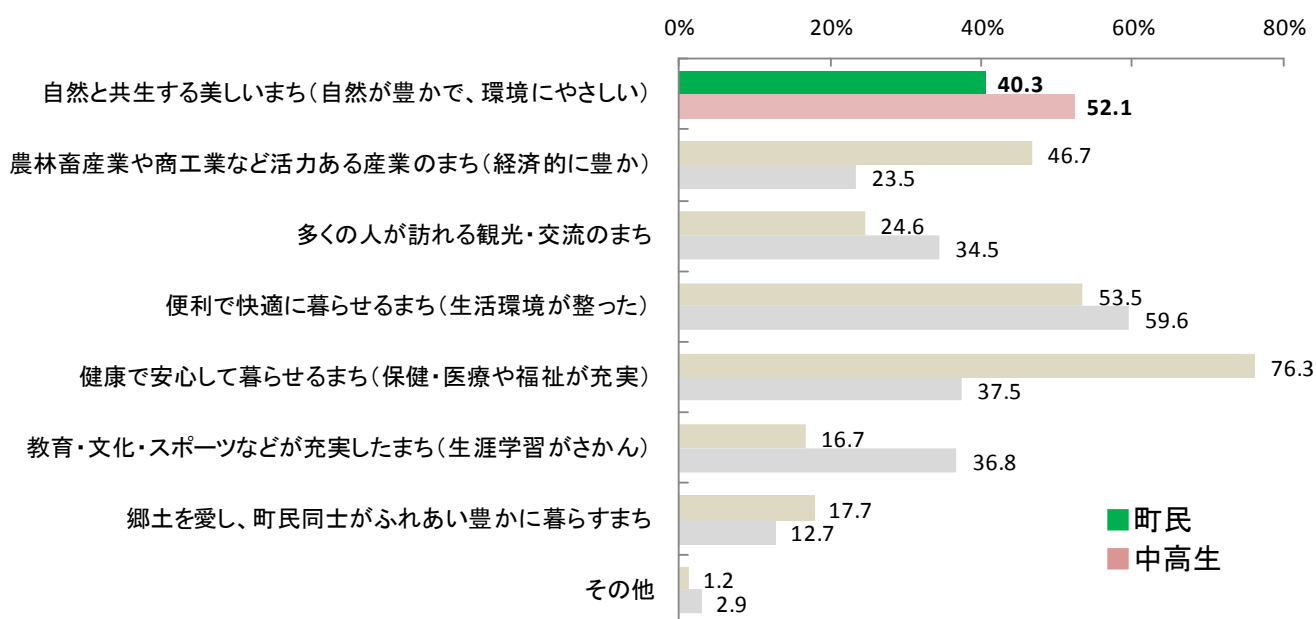
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



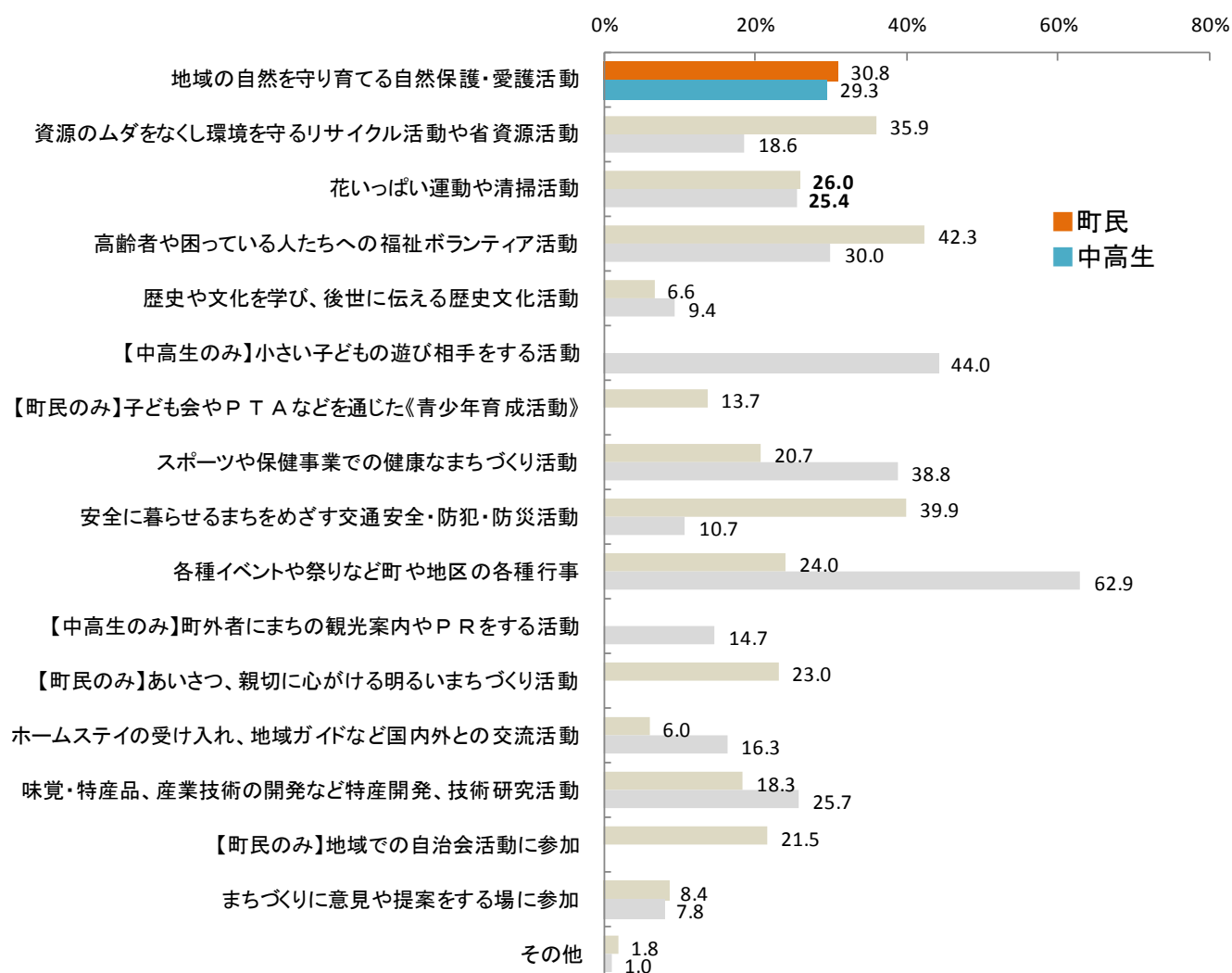
【問2】暮らしの満足度について(町民と中高生の比較)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択(上段:町民、下段:中高生))



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
環境共生 ※に向けた総合的な取り組み	地球温暖化防止対策の実施	平成25年6月から11月迄の第3金曜日をノーカーデーとして実施。		地球温暖化防止のため、継続して実施していく。
	営農用水確保のための調査、研究	国営事業により西幹線頭首工の水田用水利権を、畑地かんがい用の水利へ調査検討中。	水量不足により、水利再編でなければ新規水利権の取得が難しい。	調査検討し、事業化に向け地元農業者等の意見を聞きながら検討していく。
	畑地かんがい用水確保のための水利再編の調査	同上	同上	同上
自然環境の保護	自然環境保護の意識高揚	動植物生態調査は継続して進めることができ、その成果を利用した講座運営や企画展等を開催することができた。その成果は、報道等にも多々取り上げられ、広く町民に対して自然環境保護の意識高揚に貢献できたと考えられる。	学校教育等の場で、自然体験授業の要請が年々大幅に増えており、対応できる職員の増員が求められる。	継続して、調査研究活動、展示活動、教育普及活動を通して、自然環境保護の啓蒙に努める。

	自然保護に関する関係団体、部局との協議体制の整備	魚無川一斉清掃活動を実施しています。		河川愛護、環境美化のため今後も継続して実施します。
	自然保護に関する調査、教育、啓蒙活動の推進	環境緑地保護地区（町内2箇所）の保全に努めています。	近年風倒木が散見されるようになりました。	貴重な自然が失われることがないように今後も継続して実施します。
公害の防止	関係機関との連携による巡視活動の強化	北海道1級河川環境保全連絡協議会網走地方支部と連携し、水質事故訓練へ参加しています。	年間数件の油漏れ事故が発生しています。	河川流出事故が発生した場合、下流の大空町及び網走市へと被害が拡大するため継続して参加します。
	監視・指導体制の強化	騒音、振動防止のため、監視を強化しています。	悪臭による苦情が有ります。	発生源である原因者を指導していきます。
	公害に関する企業の危機管理意識の醸成促進	町広報により周知しています。	企業による公害等は発生していません。	公害の発生を未然に防ぐため監視活動していきます。

※環境共生：人間も生態系の一部であることをふまえ、環境への負荷をなるべく減らして生活をしていくこと。

（３）意見、提案

☺：小学生 ♂：中高生 ♀：育児ママ 自衛隊 ※：高齢者 ●：町民 ○：職員

【美幌町で好きなもの・こと】

- ☺ 川がきれい
- ☺ 釣りができる場所

【将来なってほしい美幌町の姿】

- ☺ 木が増えて、鳥や動物が多い
- ☺ 野良猫がいない町

- ☺ 木が多い
- ☺ 青空がきれい
- ☺ 自然がゆたか
- ☺ 空気がきれい
- ☺ 水がきれい
- ☺ 美幌の自然をなくさないでほしい
- ★ 景色の良さや自然の豊かさを生かしたまちづくり
- ★ 最近が自然が減っている一方だから減らしたらまた増やしてほしい
- ★ 自然を大切に
- ★ 美幌川の地形を壊さずその周りの木々を切らないでほしい。魚や鳥や虫が住みづらくなっています。
- 自然環境の充実。みどりの村の活用等。（60代）
- 山林が少なくなって畑になり、災害などの原因に成るのでは。山林も必要だと思う。（山の動物も住みにくくなると思う。）（男性・70代以上）
- 魚無川の奥の池に水を入れる整備をして欲しい。（女性・60代）